

平成17年度 文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択事業

# 保健医療福祉における連携と統合の教育

本学では、平成18年度からの新カリキュラム第4学年において、「インタープロフェSSIONAL演習」(以下「IP演習」)を全学科必修で開講します。

この演習では、学生は教員と現場のファシリテーターの支援を受けながら実際の医療・福祉現場の課題に取り組み、チームワークの大切さや他職種の役割を考え、そして自らの役割を発揮することを通じ、患者・利用者において統合されたケアのあり方を学びます。

本取組は、このIP演習の教育プログラムの開発・実施・評価を地域の多様な機関・団体と協働して行なうことにより、連携の実践力のある学生を育てるとともに、地域における専門職連携の理念と実践方法を開発する事を目指しています。



**SPU** 埼玉県立大学  
Saitama Prefectural University

<http://www.spu.ac.jp>

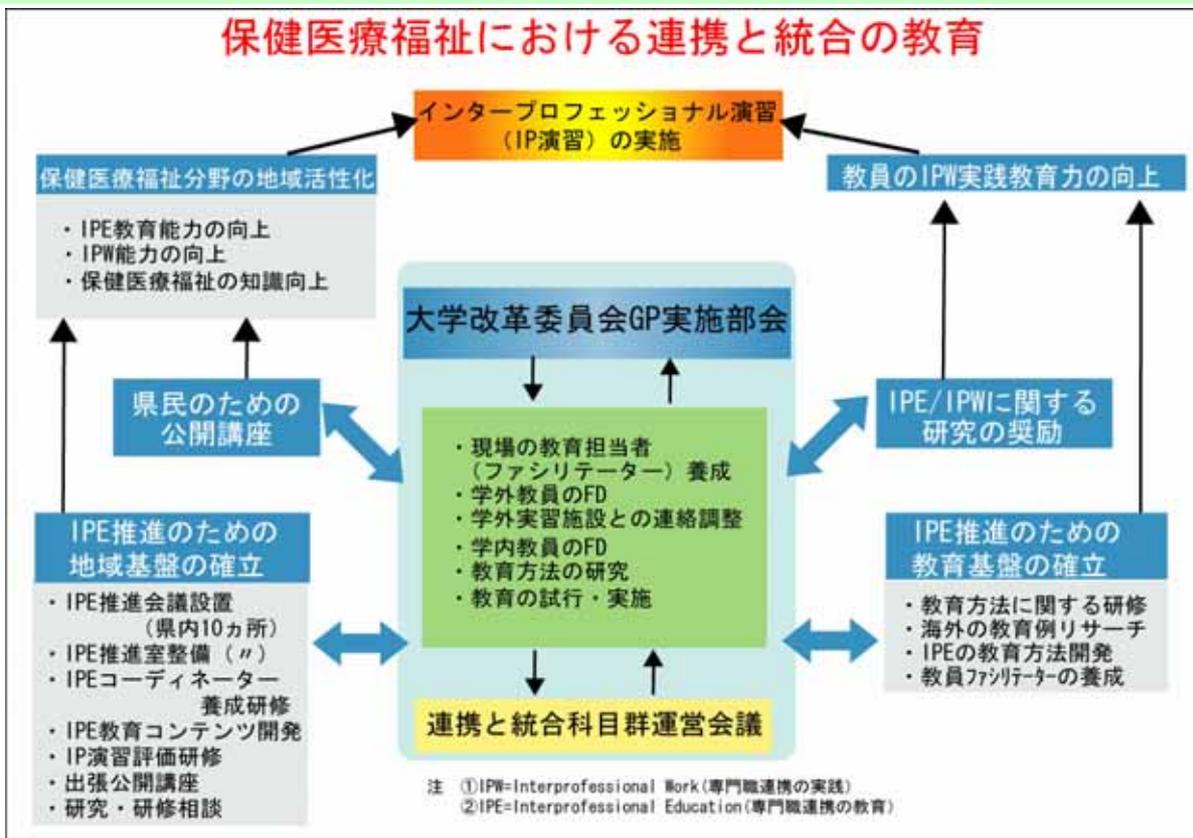
連携統合プロジェクト  
**Saipe** サイピー  
<http://www.spu.ac.jp/saipe>

## 取組の概要

本取組は、保健医療福祉の様々な分野で学ぶ学生が、職種を超え連携して患者・利用者本位のサービスとして統合できる実践力を学ぶためのプログラムを、行政や地域の援助者及び住民との協働により開発・実施するものです。

このインタープロフェッショナル演習 (Interprofessional 演習; 以下「IP 演習」) の協働開発を通じて、本学は援助者や地域住民に対して多様な職種の理解や連携技術、ファシリテーション技術に関する研修事業、情報提供事業を埼玉県の保健・福祉行政と連携しながら実施します。また、演習によって援助者や住民が実際の援助活動やサービス利用に役立つ知識や技術を修得できるよう、教員が計画的に研修を実施し、評価を行ないます。

このように大学と各分野の援助者、地域住民が相互に学びながら IP 演習に取り組み、地域で発生する具体的な課題に対応できる実践力のある学生の養成を目指します。



## 選定理由

本取組は、保健医療福祉の様々な分野で学ぶ学生が職種を超えて連携し、患者、利用者サービスを提供する統合的実践力を身につけるためのプログラムを構築しようとするもので、非常にユニークであり、極めて重要な視点を含んでいます。

地域医療の質的向上を図るためには、異なる職種の人々が互いの役割を認め合い協働できる意思と能力を有すること、地域医療の職場環境がそれを認める空間である必要があり、その実現のために異なる職種の学生を同一プログラムで教育するシステムを開発すること、その実践に当たって地域の医療現場の人々の支援を組織的に受ける必要があることは理解できます。プログラム実施にあたり、地域コーディネーターの育成から始める手法は、県立病院保健所等を有する県が設置者である県立大学ならではの取組であり、高く評価できます。

また、プログラム構築に当たっては、インタープロフェッショナル教育の先進国である英国に事例を学ぶ等、独善的なプログラムになることを避けるため十分な準備段階を踏んでいることも高く評価されます。(文部科学省選定委員会)

## 目標 1

### 推進のための組織・拠点・情報基盤づくり

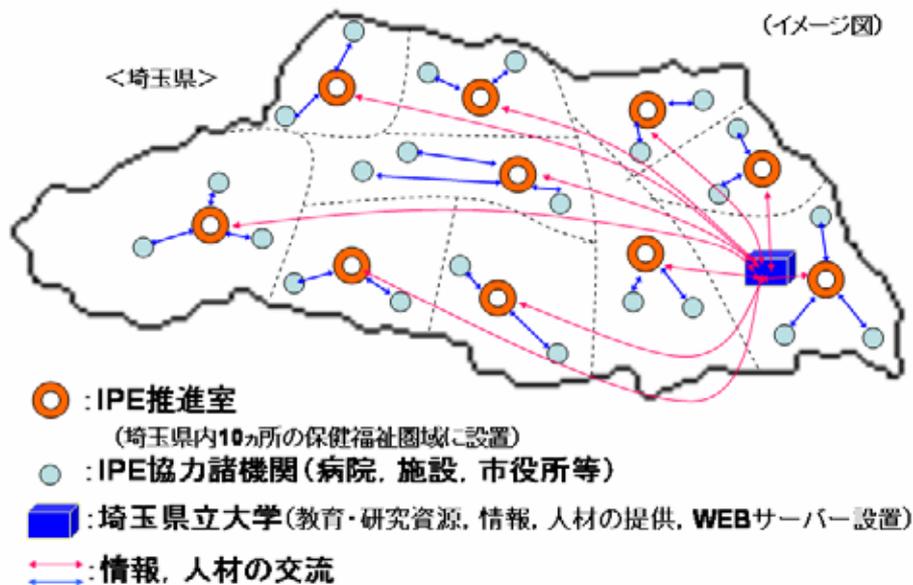
埼玉県内 10 カ所の保健福祉圏域において、IPE 推進室等の拠点を設け、順次「専門職連携推進会議」を設置します。それを基盤に、専門職同士や関係機関の連携に関わる課題の収集と、その解決に向けた取組の企画立案を行います。その上で、本学 IP 演習との協働及び推進体制を整備していきます。

## 目標 2

### IPW の実践力と教育力を備えた人材養成

本学の IP 演習の考え方をはじめ、IPW に関する基礎的な理論学習とその効果や実践的な方法を学ぶ演習、実習指導方法の理論学習・演習を行なう「IPE コーディネーター養成研修」を県内 5 地域で計画的に開催します。また向こう 4 年間、国際セミナーを本学で開催し、学内外の教員や援助者に対して IPE の展開方法を習得する場を設けます。

### 大学—IPE推進室—IPE協力諸機関の連携図



## 目標 3

### IP 演習の教育コンテンツの開発

実際に 5 日間の IP 演習を実施するにあたり、現場の課題に即した演習テーマ設定や学習環境づくりについて教員と協働して検討する、「IP 演習準備ワークショップ」を開催します。また 18 年度より地域での試行的 IP 演習を拡大し、21 年度の正式実施に向けた準備を進めます。

## 目標 4

### IPW を推進する地域開発

学生が行なう IP 演習を、報告書やプレゼンテーションによって当該地域の実践へ還元し、それを素材として地域のケアの質の向上に資するような研修プログラムを開発・実施します。また、専門職連携推進会議を拠点として、出張公開講座や研究・研修相談事業を行っていきます。

# 取組成果の例

## 地域連携

専門職連携教育への協力と、地域の専門職連携実践を推進するために、組織的な活動をスタートしています。

平成 17 年度末には、埼玉県比企福祉保健総合センター管内にて専門職連携推進会議を開催し、本学教育の考え方の説明と協力の依頼、そして今後比企管内の専門職連携の課題解決を通じて、保健医療福祉サービスの質向上を図る取り組みを行っていくことを確認しました。



## 教育開発

専門職連携教育の教育内容や教育方法について、現場の方々の意見を聞きながら開発を行っています。

平成 18 年度から始まる新カリキュラムの「連携と統合科目群」について、わかりやすく説明した手引書を作成し、学生と教員に配布しました。また、平成 21 年に正式に実施する 4 年生対象のインタープロフェSSIONAL 演習に向け、現場の課題にあったテーマ、学習環境づくりについて検討しています。



## 国際的取組

専門職連携の教育手法の開発のために、英国の大学などと交流し、また IPE 国際セミナー開催しました。

この間、複数の教員をイギリスに派遣し、専門職連携教育に関する知見を深めています。

また平成 17 年 11 月には、第 1 回 IPE 国際セミナーを本学で開催し、30 を超える高等教育機関からの参加がありました。



埼玉県立大学 GP 実施部会 <http://www.spu.ac.jp/saipe>

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 Email: saitama-gp@spu.ac.jp

GP 実施部会長 坂田悍教(看護学科教授)

電話 048-973-4199(GP プロジェクト室)

大学事務局 山中 薫(教学担当部長)

電話 048-973-4115(直通)